



この施策は、サステナビリティを経営の基盤に位置付けている阪神高速グループが取り組むべき重要課題の一つ「サステナブルなまちづくり／社会貢献活動の推進」の実現に向けたものです。

## 阪神高速 未来<sup>あす</sup>へのチャレンジプロジェクト 第4回助成事業の決定について

阪神高速道路株式会社（大阪市北区、代表取締役社長:吉田光市）は、グループ会社6社（※）及び一般財団法人阪神高速地域交流センターとともに、2021年4月より『阪神高速 未来(あす)へのチャレンジプロジェクト』をスタートしました。

（※）阪神高速サービス株式会社、阪神高速技術株式会社、阪神高速パトロール株式会社、  
阪神高速トール大阪株式会社、阪神高速トール神戸株式会社、阪神高速技研株式会社

本プロジェクトは、市民団体が阪神高速道路沿線で行う公益的な活動に対し、公募により助成を実施するもので、市民団体との協働により社会課題の解決を図り、地域・社会の持続的発展及びSDGs達成へ貢献していくことを目的としています。

第4回助成として、2024年6月10日から7月31日まで、4つのテーマ（①安全・安心なまちづくり、②持続可能な環境づくり、③次世代を担う人づくり、④地域・社会の活性化や賑わい創出）に沿った事業プランを募集したところ、計36事業の応募をいただきました。これらを厳正に審査した結果、以下の8事業へ総額400万円の助成を実施することを決定しました。

団体名	事業名称	事業概要
LFIC (The Lab of Future Innovators and Creators)	未利用農産物で生産者と消費者をつなぐ「キャリア教育×6次産業化」	子どもたちが農家の指導のもと農産物の栽培に取り組み、プロのデザイナー指導のもと商品のパッケージデザインまで関わり、地域で「こどもマルシェ」等の販売も体験する。
一般社団法人 神戸みらい学習室	様々な困難を抱える中学生への無料学習支援の運営と継続	経済事情など困難を抱える中学生を対象に神戸市内2か所で開校している無料の学習支援を継続するとともに、ネットワークを拡大しながら事業の発展を図る。
NPO 法人 ココまな	不登校児童生徒のためのフリースクール送迎サービス	不登校児童生徒の通学をサポートするためにフリースクールの送迎サービスを提供することで、通学の障壁を減らし、学びの場へのアクセスを向上させる。
特定非営利活動法人 多言語・多文化サポート ICHI	地域で育てる多言語・多文化社会 — 子どもたちの未来をつなぐ —	「放課後日本語教室」、「やさしい日本語で話す生活セミナー」を実施し、外国につながる親子を支援する。また、地域のすべての親子を対象とした多言語・多文化交流イベントを開き、将来を担う子供たちに対し多文化共生等の啓発を促す。

団体名	事業名称	事業概要
能楽と郷土を知る会	プロと子供たちで紡ぐ地域能楽の伝統：民話狂言の新作	地域の民話を基にした新作狂言を創作し、プロの能楽師狂言方と指導を受けた地元の子供たちが共に演じることを通して、地域の歴史文化を活性化し、次世代にその価値を伝える。
認定 NPO 法人 みやっこサポート	不登校児童の学び場 『IROHA らぼ』	学ぶ機会を失っている不登校のこども達が、学ぶ楽しさを知り、良き個性を伸ばし、生きていく力を身につけていくために、個々のニーズや状況に合わせた学びのプログラムやサポート体制を提供する。
NPO 法人 やんちゃまファミリー with	発達支援プロジェクト すべての人が生きやすいまちへ	月1回、発達障害をもつ子どもを育てる保護者が集まるカフェを開催し、発達障害の子どもを育てる看護師、保育士、保健師等がピアカウンセリングを行う。この他、相談、講座、講演等も実施する。
若者防災協議会	各家庭での防災を推進する 「ジュニア防災リーダー」 の育成	北五葉まちづくり協議会と連携し防災教育プログラムを展開。これまで防災フェス、ジュニア防災リーダー養成講座を通して、小学校高学年への防災教育を実施してきており、今後は低学年も対象にしたプログラムを追加して実施する。

(団体名の 50 音順)

なお、活動成果については、2026年2月頃、弊社HP等で公表する予定です。

今後も、本プロジェクトを通じて、地域・社会の持続的発展に貢献できる活動を応援し、明るい未来の共創に努めてまいります。

